



鹿追町

概要

鹿追町は、人口約5,800人の過疎地域であり、通勤や通学、高齢者等の通院等の住民生活に不可欠な公共交通として、4路線の民間路線バスと、路線バス沿線以外の地域は公共交通空白地域となっているため町営のスクールバス、患者輸送バスで維持しているが、然別湖観光への重要な足ともなっている路線バスは、利用者の減少により町の財政負担は増大しており、スクールバス、患者輸送バスにおいても利便性の向上が求められている。このため、路線バスやスクールバス、患者輸送バスの効率的な運行による利用価値の向上と活性化を図り、鹿追市街地区にも存在する公共交通空白地域へのデマンド型交通、コミュニティバスの導入等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・北海道拓殖バス(株)(鹿追線、新帯線、然別湖線、瓜幕線)
- ・町営バス(スクールバス、患者輸送バス)

地域公共交通の課題

- ・路線バスの利用が低迷
- ・スクールバス、患者輸送バスの利便性、効率性の向上
- ・公共交通空白地域から中心地への交通整備

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・市街地内及び市街地以外の公共交通空白地域における、乗合タクシー・コミュニティバスの試験運行
- ・観光客による帯広～然別湖間の路線バス利用促進、同ルート上にある鹿追駐屯地の通勤利用(エコ通勤)促進のための試験運行

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・路線バスの運行体系再編
- ・スクールバス、患者輸送バスの運行体系再編
- ・デマンド型交通、コミュニティバスの導入



鹿追町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

協議会開催状況

4回開催

分科会等開催状況

-

回数は平成21年度未までの開催予定

現況交通実態調査

- ・町内バス運行実態等の調査(H21.10~12月)及びバス利用実態調査(H21.10.29・31、12.20・22)を実施。

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

- ・住民の移動実態、交通利用状況、デマンド型交通、コミュニティバスの利用意向、公共交通空白地域における交通ニーズの把握を目的とした住民アンケート調査を実施。(H22.1.26~2.5)
- ・観光客によるバス利用促進に関するアンケート調査を実施。(H21.10.3・4)

乗合タクシーの試験運行

- ・中鹿追地区において、乗合タクシーの利用ニーズの把握を目的とした試験運行を実施。(H22.2.8~12)

予定している連携計画の内容

乗合タクシーの導入(実施主体:検討中、実施時期:H22~)

- ・公共交通空白地域の解消を図るため、デマンド型乗合タクシーを導入。デマンド型交通の可能性を検証するため、H22に実証運行を実施。

利用促進に向けた取組の実施(実施主体:検討中、実施時期:H22~)

- ・「交通・環境・健康」などをテーマとした出前講座を開催。また、公共交通利用の住民意識醸成を目的としたニューズレターを配布。

自己評価のポイント

利用実態調査、住民アンケート調査、観光客アンケート調査、乗合タクシーの試験運行等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において合意形成を図っている。

二次評価の方向

次に掲げる点についてアドバイスする。

- ・事業実施の迅速化を図るとともに、連携計画の策定に当たっては、調査の結果明らかになった課題やニーズ等を十分に分析の上、同計画に記載する目標、当該目標を達成するために実施する事業の内容、実施主体、スケジュール等を具体的に検討すること。
- ・法定協議会における議論を補完する等の観点から、必要に応じて、WGや専門部会等の開催も検討すること。